



議会だより

せとうち

2021
9.1
第67号



新体制スタート 〰〰〰〰〰 2~3
議案審議 〰〰〰〰〰〰〰 4~7
一般質問 〰〰〰〰〰 7~15

災害に備えて (瀬戸内市消防団・夏季訓練)

活発な議論、開かれた議会に

6月6日の選挙において、新体制がスタートしました。



就任あいさつ

副議長
島津 幸枝

議長
廣田 均

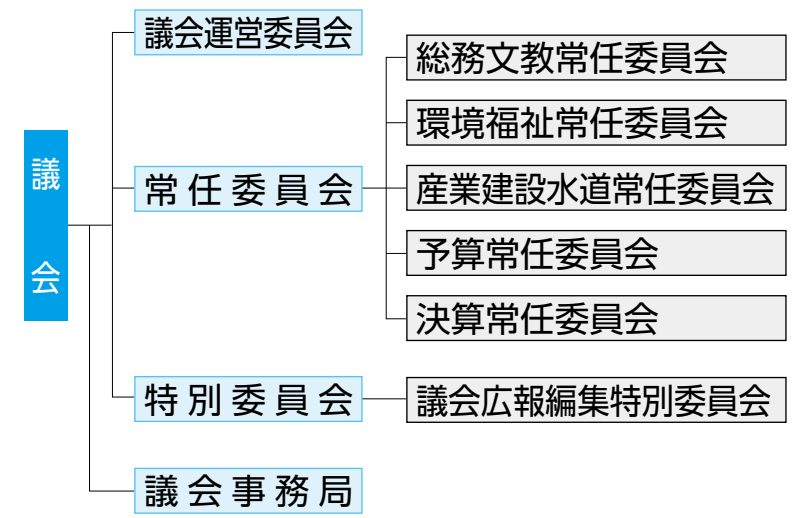
この度、副議長に就任させていただきました。新型コロナウイルス危機は、市民のくらしや仕事に影を落としています。こういう時だからこそ、予算の使い方や各事業の進め方が、市民のためになっているかどうか問われています。今後、JR駅前整備、庁舎再編などの大型公共事業も計画されている中、住民目線で審議し、活発に議論が尽くされるような議会運営を目指します。市民の皆様方におかれましては、身近な議員や事務局にご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

コロナ禍で大変厳しい市民生活が続く中、議長に就任させていただきました。微力ながら一生懸命重責を果たしていきたいと思います。議会と執行部は車の両輪と言われる反面、行財政をチェックする機能を有し、無駄遣いをさせないバランスのとれた効果的な運営をしなければなりません。議員相互のレベルアップを図り、議論を戦わせながら切磋琢磨し、市民の皆様の代弁者として頑張ります。今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

会派別構成 (届出順)

かなえの会 (3名)	代表 秦井 誠司 副代表 成本 崇 島原 舞
日本共産党 瀬戸内市議団 (2名)	団 長 厚東 晃央 幹 事 長 島津 幸枝
公明党 瀬戸内市議団 (2名)	団 長 河本 裕志 幹 事 長 川勝 浩子
創流クラブ (2名)	代 表 竹原 幹 日下 俊子
瀬戸内市民の会 (3名)	代 表 小野田 光 副代表 原野 健一 平原 順二
新風 (5名)	代 表 室崎 陸海 廣田 均 小谷 和志 石原 芳高 岩田 恵一
無会派 (1名)	木下 公文

議 会 構 成 図



環境福祉常任委員会



- 委 員 長 厚東 晃央
副委員長 川勝 浩子
委 員 秦井 誠司 平原 順二
石原 芳高 小谷 和志

総務文教常任委員会



- 委 員 長 河本 裕志
副委員長 竹原 幹
委 員 成本 崇 岩田 恵一
島津 幸枝 小野田 光

産業建設水道常任委員会



- 委 員 長 原野 健一
副委員長 日下 俊子
委 員 木下 公文
島原 舞 室崎 陸海

予算常任委員会

議長を除く17議員

- 委 員 長 小谷 和志
副委員長 木下 公文

決算常任委員会

議長及び議会選出監査委員を除く16議員

- 委 員 長 平原 順二
副委員長 岩田 恵一

議会選出監査委員

小野田 光

議会広報編集特別委員会

- 委 員 長 小谷 和志
副委員長 日下 俊子
委 員 成本 崇 川勝 浩子
岩田 恵一 島津 幸枝
原野 健一

議会運営委員会

- 委 員 長 石原 芳高
副委員長 竹原 幹
委 員 成本 崇 河本 裕志
島津 幸枝 小野田 光
室崎 陸海

新体制スタート

議案審議

一般質問

新体制スタート

議案審議

一般質問

今城こども園の設計やり直しに 約800万円

今城こども園のこれまでの経緯	
令和元年8月	今城幼稚園と保育園を統合し、こども園にすることを決定。両園舎を改修するための設計予算、約800万円が計上され可決。
令和2年7月	保育を行いながら比較的新しい幼稚園舎と、築43年の老朽化した保育園舎を改修するため、より技術力の高い設計業者を選定する必要があると、*1プロポーザル方式での選定にする報告があった。
令和2年9月	幼稚園舎は改修し、保育園舎は解体し新園舎に建て替える提案事業者がプロポーザルで選定された。
令和3年3月	プロポーザルでは、工事費2億円だったが、保護者や園の要望を取り入れた、約2億9千万円の工事予算が計上され可決した。
令和3年4月	既存の園舎を活用し、今城こども園として運営開始。

※1 プロポーザル：「提案事業者」を総合的に評価して決める方法

問 一度立ち止まるといふなら、当初の工事費で実施しようと思っただけでなく、ゆっくり考えるべきではないか。

答 財源の問題もあり、有利な起債を使うには、今年度の工事着手が必要であるため、今のスケジュールでいきたい。

問 現在の保育園舎に、アスベストがあるとの説明があったが、子どもたちに影響はないのか。

答 施設を解体する場合には、飛散防止の措置が必要とな

最終的な実施設計での工事予算が、約3億4千万円となり、さらなる事業費の増加や工期の延長も見込まれる。

「このまま工事を発注するより、一度立ち止まって予算額内で両園舎を改修する決断をした。」と、やり直しの設計予算が計上された。

予算を削除する修正案が提出されたが、賛成少数で否決し、予算を可決した。

反対 最善の策と選んだプロポーザルの案を捨てて、保育しながらの安全安心の確保が難しい計画を選択することに理解が出来ない。強引に進めるのではなく、しっかり検証すべきだ。

築43年の老朽化した保育園舎をアスベストに蓋をしてまで改修して、この先50年60年と持たしていくやり方は、箱モノを作ることが目的になっていると思えない。子どもたちのために優先に考えて欲しい。

保護者に対し、一度保育園舎は建て直すと了解をもらっておきながら、改修で済ませることに理解が得られるとは思えない。

賛成 今回の失敗を糧にしながら、再び信頼をいただけるよう努力する。

子どもの安全を考え、市の負担を少なくしながら、早くリニューアルして欲しいとの要望実現のために、苦渋の決断であったと理解している。

今回の予算が通らなければ、工事の発注ができないことになる。建て替える場合は、さらに大規模な解体を伴い、園児の安全対策経費を更に増額する必要がある。また、有利な財源も活用できず、市の負担も増大する。こども園児の安全を確保しながら大規模な解体を伴わない、資材の入手にも困難をきたさない改修工事を軸に建築基準にも照らし、予算計上したと理解している。

移住・交流人口拡大に 約1100万円

移住交流人口拡大に向けた新規事業（予算計上内容）			
事業詳細	予算	事業詳細	予算
*2) リモートワークタウン構築事業	340万円	お試し住宅にインターネットを整備	17万円
離島活性化推進事業費	200万円	移住・定住・交流推進支援事業	200万円
リモートワーク推進事業者支援	48万円	協働の空き家活用推進	180万円
地域おこし協力隊配置	123万円	合 計	1,108万円

※2 リモートワーク：勤務先から離れた場所で仕事を行うこと

移住交流人口拡大を目指し、オンラインでの移住相談PR強化等で、移住や企業誘致を目的とした事業7本の予算が計上され、可決した。

市内の古い町並みを含めて、土地利用の方向性を定めることを目的とした「まちなみ企画室」の戦力として、会計年度任用職員を採用する予算が計上された。予算を削除する修正案が提出されたが、賛成少数で否決し、予算を可決した。

問 まちなみ企画室でそういった人材を必要とする理由は、4月にまちなみ企画室ができたが、都市政策や町並み整備に精通する人材がいらない。実務面での定期的な支援が必要である。

答 今さら都市計画を導入しようと考えているのか。

導入が前提ではないが、都市計画がない中で何ができるかということから検討を進めたい。

賛成 土地利用の方向性を明確にしていくためには、有能な人材にアドバイスを受けながら、職員の能力向上を図っていくことが必要である。

反対 市としての町並みをどう整備していくかの方針もなく、具体的な実務も決まっていないうちで、特別な給与での採用に納得できない。

（討論）

まちなみ企画室

会計年度任用職員採用に 147万円

令和3年第3回（6月）定例会 賛否の公表

議案名		議決年月日	採決結果	かなえの会		日本共産党 瀬戸内市議団		公明党 瀬戸内市議団		創流 クラブ		瀬戸内 市民の会		新風					無 会 派	賛 成	反 対		
				秦 井 誠 司	成 本 崇	薦 原 舞	厚 東 晃 央	島 津 幸 枝	河 本 裕 志	川 勝 浩 子	竹 原 幹	日 下 俊 子	小 野 田 光	原 野 健 一	平 原 順 二	室 崎 陸 海	廣 田 均	小 谷 和 志	石 原 芳 高			岩 田 恵 一	木 下 公 文
議案 第51号	令和3年度瀬戸内市一般会計補正予算 （第4号）に対する修正案について	R3.7.13	否決	●	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●	—	○	●	●	●	7	10
	令和3年度瀬戸内市一般会計補正予算 （第4号）	R3.7.13	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	○	○	—	●	○	○	○	10	7
陳情 第1号	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める 意見書の提出を求める陳情	R3.7.13	採択	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	—	●	○	○	○	11	6

○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席 —＝議長職（議長は採決に加わりません）

※他の議案については、全員賛成

新体制スタート

新体制スタート

議案審議

一般質問

一般質問

約1千万円

【日本刀の聖地】拠点づくりに

備前長船刀剣博物館『日本刀の聖地』拠点計画（5力年）の今年度事業分の予算が計上され、可決した。

問 拠点計画の具体的な内容は。

答 日本刀という文化をテーマにし、備前長船刀剣博物館を拠点として、地域全体を盛り上げていくという計画である。

問 令和3年度から5力年で約3億円の事業のようだが、約半分が文化芸術振興費補助金で、残りの財源は。

答 山鳥毛里帰リプロジェクトの寄附金の残りの応援基金を考えている。

問 応援基金の残高はいくらか。それで足りるのか。

答 1億3千万円程度残っており、引き続きふるさと納税を行っているので、新たに入ってくる応援基金と合わせて賄えると考えている。

事業詳細	予算
会計年度任用職員（多言語対応専門人材）の採用 10月～週4日 備前長船刀剣博物館で多言語対応を行う	約90万円
雑誌やWeb等を活用した情報発信	300万円
日本刀関連商品の開発促進	約300万円
日本刀体感 宿泊型観光ツアーの構築	約50万円
地域周遊促進イベント開催	約100万円
壁画制作（長船町福岡地域）	約50万円
観光タクシーラッピング	約90万円
合計	約1千万円

前島フェリー新造船に

2億円

前島フェリーを運営している緑の村公社は、経営の悪化が深刻な状況になっている。

公社は、経営改善計画を前倒しして、老朽化したフェリー（第7からこと）を売却し、維持管理費の少ない19トンの台船型フェリーを約2億5千万円で導入する。

市が、導入に対し補助する予算2億円が計上され、可決した。

問 島民としっかり話し合いができていますか。

答 島民総会に何度も参加し、一緒に議論を重ねてきた。

問 フェリー小型化の影響は。

答 規模を小さくすることで、不便になるところもある。そのため便数をどのくらい増便できるかを、今後模索していきたい。

問 今後のスケジュールは。

答 今年度、造船事業者決定のプロポーザルを行う。令和4年度中に進水竣工の予定である。

市内宿泊業者支援に

約3千300万円

宿泊客一人当たり1万円を上限に、宿泊料金を50%割引にする予算が計上され、可決した。

問 昨年は夏休みの実施だったが、今年はいつから実施するのか。

答 新型コロナウイルスの状況を考えながら、慎重に判断する。

答 域内観光では、経済効果が見込めないで、関西方面の誘客で観光需要を高めたい。

問 昨年の同じ事業では、事業終了後に大量解雇があったとも聞く。今年度の事業では、そのようなことはないか。

答 大量解雇があったことは、把握している。

今年度は各事業所の事業継続を支援するためにも、そのようなことがないよう事業構築をしていただく。

陳情審査

「選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める」陳情が提出され、賛成多数で採択し、国へ意見書を提出した。

賛否の公表は5ページ参照

一般質問

島原 舞（8ページ）

- 子育て支援策について
- 観光振興について
- 河本裕志（8ページ）

石原芳高（9ページ）

- 国宝「太刀無銘一文字（山鳥毛）」について
- 本庁舎の駐輪場について
- 木下公文（9ページ）

岩田恵一（10ページ）

- 目指す瀬戸内市の姿について
- 防災無線について
- 市民の交通手段について
- 文化観光事業の取り組みについて
- 児童が減少する小学校の今後の運営について

川勝浩子（10ページ）

- 下水道事業等について
- ひきこもり支援について
- 発達障がい児・者支援について
- コロナ禍における生理の貧困について

原野健一（11ページ）

- 地域公共交通施策について
- 歴史的建築物の保護について
- コロナ禍対策について

厚東晃央（11ページ）

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 牛窓学校給食調理場の統廃合について
- 選挙の投票について

島津幸枝（12ページ）

- 子育て支援策について
- 生理の貧困について
- 難聴者支援について
- JRR駅前整備事業について
- 庁舎再編計画について

竹原 幹（12ページ）

- 公共施設再編計画について
- 市道・用排水路の整備について
- 学校給食について
- 小谷和志（13ページ）

秦井誠司（13ページ）

- マイクロプラステック等の海洋ごみ問題について
- 高齢者タクシー活用事業について
- 新型コロナウイルススワッチンについて

日下俊子（14ページ）

- 選挙における投票率の向上について
- 国府小学校校舎の長寿命化について
- 庁舎再編計画について

小野田光（14ページ）

- 新型コロナウイルス感染症関連について
- 首長の責務とリーダーシップについて
- 防災対策について

室崎隆海（15ページ）

- 地域の文化や文化財を守り、磨きかける具体的な取り組みについて
- 職員採用について
- 成木 崇（15ページ）



石原 芳高

問 山鳥毛の意匠や商標権は

答 特許庁の審査待ちである



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



嵐原 舞

問 出産祝金制度を導入してはどうか

答 担当課と協議し慎重に検討する



問 人口減少と少子化対策は急務である。今の若い世代は、結婚や出産についてSNS等で情報を得ているため、出産祝金についても近隣他市と比較している。子育て支援のさらなる充実を図るため制度を導入してはどうか。

市長

他市との比較の中で、すくすくチャイルドサポート事業は評価いただいているが、出産祝金は支給していない中で、市の子育て支援策全体で子育てしやすいまちとしてさらに高い評価をいただけるように、担当課と協

議し慎重に検討する。
問 コロナ禍及びコロナ後の観光振興について。

文化観光部長

昨年度に引き続き、購入金額の25%のプレミアム付電子商品券「瀬戸内市プレミアムe街ギフト」の第2弾の実施を予定している。
市内の観光関連事業者をはじめとする市内事業者の支援を目的とし、観光客はもとより市民にも広く利用を喚起し、市内事業者の支援につなげていきたい。



子育て楽しむならせとうち (令和3年度) リーフレット

問 山鳥毛がデザインされた運送業者の車を見かけるが、意匠や商標権はどうなっているのか。

文化観光部長

事業者からデザイン使用の申し出があり、検討した結果、広報を兼ねてお願いをすることになった。

権利については、商標権の登録を特許庁に出願中である。
登録の可否については、今年度末以降になると考えている。

問 高齢者の免許返納や昨今のバイクブームで、庁舎東側の駐輪場の混雑が見受けられる。改善策を考えるべきでは。

総務部参与

来年度施行予定の西棟改修に合わせて、約24台の駐輪場の整備を計画している。



市庁舎東側、混雑することが多い駐輪場

問 今後、駐輪場が不足していくのは明らかである。併設している、雑紙などのストックヤードも含めて、総合的に整備していく必要があるのではないか。

総務部参与

現状においても、駐輪場が混雑しているという認識はある。
駐輪場東側スペースには、整備が可能と考えている。ストックヤードの新設も含めて、検討したい。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



河本 裕志

問 通学路の安全点検は

答 危険箇所の合同点検を実施している



問 2012年4月に児童と引率保護者の列に軽自動車が入り込むという悲惨な事故を受け、国に公明党が緊急提言を行ない、文部科学省、国土交通省、警察庁がそれぞれ通知を出し、通学路の緊急合同点検を実施することになった。
毎年行なっている合同点検の状況は。

教育次長

教育委員会、危機管理課、建設課、瀬戸内警察署等の関係機関と合同で危険箇所の合同点検を実施している。
平成30年度の要望が75件で58件が対応済み。
令和元年度が46件で33件に対応済みである。
また、確認された危険箇所を児童・生徒に周知している。
自ら命を守る



長船町長船の用水路

行動ができるよう指導していきたい。
問 長船町長船の用水路への転落防止柵は。

産業建設部長

通学路に限らないが、用水路などへの転落事故防止という喫緊の課題がある。
関係部署による水路への転落防止柵を検討する会議も執り行い、積極的に設置していきたい。

木下 公文

問 市内低地帯地域の浸水対策について

答 国、県と連携して対策の充実に努める



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



河本 裕志

問 通学路の安全点検は

答 危険箇所の合同点検を実施している



問 2012年4月に児童と引率保護者の列に軽自動車が入り込むという悲惨な事故を受け、国に公明党が緊急提言を行ない、文部科学省、国土交通省、警察庁がそれぞれ通知を出し、通学路の緊急合同点検を実施することになった。
毎年行なっている合同点検の状況は。

教育次長

教育委員会、危機管理課、建設課、瀬戸内警察署等の関係機関と合同で危険箇所の合同点検を実施している。
平成30年度の要望が75件で58件が対応済み。
令和元年度が46件で33件に対応済みである。
また、確認された危険箇所を児童・生徒に周知している。
自ら命を守る



長船町長船の用水路

行動ができるよう指導していきたい。
問 長船町長船の用水路への転落防止柵は。

産業建設部長

通学路に限らないが、用水路などへの転落事故防止という喫緊の課題がある。
関係部署による水路への転落防止柵を検討する会議も執り行い、積極的に設置していきたい。

問 市内低地帯地域の浸水に対するハードとソフトの対策をどのようにするのか。

産業建設部長

浸水対策として、常設で設置しているポンプとは別に、沿岸部には台風や豪雨のときなど、内水排除として必要になることが想定される場合に、仮設のポンプ38台を設置して、浸水被害が最小限となるよう努めている。

機会を捉えて国、県にその実情を訴え、対策の検討を求めているが、ハード事業だけでは防災対策に限界があるので、ソフト面の対策強化と合わせながら、対策の充実に努めていきたい。

総務部参与

主に浸水対策のソフト面について、発災前の迅速な情報発信と平時の意識啓発が重要だと考えている。
また、現在整備中の防



鹿忍小向川



原野 健一

問 オリーブ団地に両備バスの停留所を

答 路線全体の効果を考えバス会社と話し判断



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

市 長
長年運行している民間の路線バス会社であることから、採算面、利便性、乗降客数等の見通しもつくと思う。

市 長
そのような要望があることをお伝えした上で、市からの要望を上げるかどうか考えたい。

総合政策部長
両備バス関係者の話によると、運行経路の延長により、乗車時間が長くなり、利用者離れを招くリスクは高くなるが、一定の利用者の増加が見込まれ、それを補えるだけの収益を確保できる地域であれば、検討は可能であるとのことだった。

問 現在の路線ルートよりも、少し奥まった場所にあるオリーブ団地に、両備バスの路線を引き込むよう、市から要望してはどうか。



オリーブ団地への道路

問 歴史的建築物を復活させ、そこを拠点に地域の活性化につなげるための新しい補助金等は考えられないのか。

文化観光部長
指定文化財とか、登録文化財といった、一定の手続きを経たものに限りいくらかの財政支援はある。これからは、個人所有の建物であっても、地域の中で公共的な活用ができるのであれば、文化財という観点からだけでなく、財政支援も含めて、横断的な検討が必要であると感じている。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

岩田 恵一

問 目指す瀬戸内市の姿について

答 幸せ実感都市を目指す



問 第3次総合計画で市長の描く10年後の市の姿を問う。

市 長
地方創生とSDGsを一体的に推進「人と自然が織りなす幸せ実感都市」を目指す。

総務部 参与

問 防災情報システムの整備概要と進捗状況、効果の検証方法を問う。

問 市営バスの現在までの施策と効果の状況を問う。

問 期間限定の無料お試し乗車での利用啓発。路線限定でのフリー乗降、停留所増設の改善を図ってはどうか。



市営バス

問 コロナ禍後の観光戦略と観光行政への市の役割を問う。

文化観光部長
今年からの「岡山デザイン・イン・アース」に参加し、継続的な誘客につなげる。文化イベントに対する市の役割は、事業の側面的支援を行うことと考えている。

総合政策部長

現在全路線合計で一便当たり0.8人。西脇邑久駅のルート変更、一日200円への運賃改定、乗り継ぎ利便性改善で、利用者数が向上したがまだ改善が必要。

提案の無料乗車キャンペーンは条例上難しい。フリー乗降も危険が伴い対応は困難である。



厚東 晃央

問 コロナで影響を受けた事業所に支援を

答 必要な政策を引き続き検討する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 コロナ禍の今、緊急事態宣言などで影響を受けた事業所へさらなる対策が必要である。規模に応じた補助や家賃補助など、市独自の支援をすべきではないか。

産業建設部長

支援策として、事業経営の継続、感染防止の徹底を目的に、物品購入費用の助成を行う。家賃補助などの支援は、要望が多数あれば検討する。

問 対象が少なくても必要な支援を行う必要がある。幅広い意見を聞きながら支援をすべきではないか。

上下水道部長
水道料金が安いことは認識している。引き下げは難しい。コロナ対策として、今後の感染状況をみきわめながら、影響を受けている方に対して効果的な施策に取り組む。



「瀬戸内市プレミアムe街ギフト(第2弾)」チラシ



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

川勝 浩子

問 コロナ禍の生理の貧困に備蓄品の活用を

答 早急に対応する



問 コロナ禍において、経済的理由で生理用品の入手に苦労した人が約20%と深刻な状況となっている。災害備蓄を活用し支援をしてはどうか。

総務部 参与

備蓄品の活用を早急に行っていく。

問 学校での支援も必要であるが、気兼ねなく手に取れるように生理用品をトイレの中に置いてはどうか。

教育次長

児童生徒が安心して学校生活が送れるように前向きに検討する。

問 ひきこもり支援にサポートセンターひなたが開設した。ひきこもりは家庭だけで抱える事から、社会問題へとなっている。ひきこもりには、不登校も



ひきこもりサポートセンターひなた

市 長
検討する。

問 発達障がい児・者に切れ目のない支援をするには、トータル的な体制を整備し、スペシャリストを配置してはどうか。

福祉部長
ひきこもりサポートセンターの開設準備段階から関わっている。今後もしっかりと連携していく。

関係していると言われている。教育委員会との連携はどうなっているのか。

産業建設部長

財源の確保を見据えた上で支援策を検討している。

問 令和2年9月から12月までの4カ月、水道料金の減免を実施した。市の水道料金は県内の他自治体に比べても高い。コロナ禍の中で、水道料金の引き下げをすべきではないか。

上下水道部長



小谷 和志

問 改修を要望している箇所への対応を

答 できるだけ地域の要望に応えたい



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

千田川の改修は、平成27年度から事業着手し、令和5年度から工事着手する計画である。敷井地区の河川の対策は、仮設のポンプの設置や逆流防止のフラップゲートの設置、排水路の整備など実施している。さらに対策が必要なら講じていきたい。



改修計画が進んでいる千田川(飯井地区)

産業建設部長

問 千田川・小向川の改修や敷井地区の河川の災害対策、ため池の災害対策など、市民から改修を要望している。その対応が市民に伝わらない状態である。市民にもきちんと伝えながら、早急に対応をすべきではないか。

上下水道部長

小向川の改修は、地域住民と協議を行いながら方針を決めたい。

市長

地元からの要望が十分に対応できていない現状は謙虚に受け止めたい。市民へ現状の説明など伝える手段は必要である。市民の要望に少しでも応えられるように引き続き努力したい。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

島津 幸枝

問 学校給食費の無償化を

答 食材費は保護者に負担をしてもらいたい



問 学校給食は教育の一環。憲法は「義務教育は無償」と定めている。学校給食を無償化すべきでは。

教育長

保護者には、食材費に係る部分だけを負担していただいている。

問 アレルギーのある児童に学校給食でアレルギー除去食を提供すべきでは。

教育長

県内にはアレルギー対応をしている調理場もある。研究し、今後について考えていきたいが、現状では難しい。

問 学校や公共施設のトイレに生理用品の常備。また予算の確保を。

教育次長

各学校、施設で、トイレへの設置も含め、提供方法を協議し検討したい。



さっそく、生理用品の常備が始まった瀬戸内市中央公民館トイレ

教育長

備蓄品を活用していく中で、どの程度の必要があるか調査をしている。今後は補正予算をあげることも考えている。

福祉部長

問 高齢者の補聴器購入助成制度は。また事業開始に合わせ、言語聴覚士による聞こえ相談を。

8月から申請受付開始。65歳以上の非課税世帯で、耳鼻科医師から補聴器の必要を認める情報提供書をもたえる人に、5万円を上限に助成。補聴器相談医や難聴者のご意見を反映し、検討したい。



秦井 誠司

問 海洋ごみ問題の取り組みについて

答 瀬戸内海保全のため、11市町と連携



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



ボランティアによる海岸清掃

市民生活部参与

問 マイクロプラスチック等の海洋ごみ問題について、大変な問題となっているが、瀬戸内市でも今後どのような取り組みを進めていくのか。

令和3年度から瀬戸内海の保全を目指すため、岡山連携中枢都市圏を構成する近隣の11市町と連携し、海洋保全問題に取り組むことで、情報交換を行い、海ごみ対策を研究、推進していく。

いづも・健康部長

問 コロナワクチンの予約について、難聴者などの要支援者への配慮はどう考えるのか。

支援を要する方に対して安心して接種が受けられるよう、必要な案内や情報が必要に伝わり、予約申し込みの漏れがないように随時確認している。

福祉部長

問 高齢者タクシー活用事業について問う。

介護保険における要支援、要介護認定を受けている市内の在宅の人で、運転免許証を保有していない人に対して移動手段を確保することにより、外出の促進や通院の支援に寄与するためのタクシー助成事業について、9月から申請受付が開始できるよう、準備を進めている。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

竹原 幹

問 学校給食費無償化にどう取り組むのか

答 財源を確保し様々な子育て支援から選ぶ



一般質問

問 今年になり、赤磐市、備前市、瀬戸内市で市長選が行われ、学校給食費の無償化が争点になった。備前市では、実施するとして候補者が勝利した。都市間競争の観点からどう取り組むのか。

市長

相手候補者の公約等良いものがあれば、取り入れていけばよいという考えである。まず財源を確保し、子育て支援の様々な選択肢の中から選んでいく。

問 公共施設再編計画によると、長船町公民館は解体としているが、跡地活用はどのように考えているのか。

総務部参与

特に水害時の避難所機能を求める声を多くいただいている。今後、市民の皆さんの思いを受け止め、活用方法を検討していきたい。



未改良の市道(長船町服部地内)

市長

問 市道、用排水路等の生活環境に係る予算が足りていないのでは。

市が管理している道路や水路の対応状況は、昨年度で594件の要望に対して、対応済みが312件。対応率は、52.5%である。

産業建設部長

問 市道整備への地元要望は強いが、対応されていない。地元要望に対する実施状況は。



日下 俊子

問 長寿命化工事に伴い課題解決が必要では

答 しっかり対応できている



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



仮設校舎の建設が進む国府小学校

問 国府小学校は、現在プレハブの仮校舎を建設中で、2学期から令和5年度末までの改修工事が始まる。約13億円もお金をかける時にこそ、支援学級不足、トイレの洋式化といった数々の学校の課題に対応すると聞いている。

一方で本市は、学校と地域が協力して子どもたちを育てる、「コミュニケーションスクール」を目指している。

であれば、その拠点となるボランティアルームも整備すべきでは。

教育次長

現在の位置・面積で、改修予定である。

問 庁舎再編計画については、長船町公民館の存続を求める署名、ゆめトピア長船に保健福祉センター機能の存続を求める署名と、二度の市民からの署名が提出されている。

長船町公民館とゆめトピア長船のどちらもが活発に使用されている施設の統合を私なりにコミュニケーションしてみたら、そのような魔法のようなことは不可能だった。しっかりコミュニケーションすべきでは。

総務部 参与

まずは市の事業が優先、その次に公民館事業、それから一般使用の順となる。

コミュニケーションについては、検討し確認する。



小野田 光

問 首長の責務とリーダーシップとは

答 市民と対話を深め解決を目指す



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 初めての市長選挙を通じて、何を感じたか。

市長

多くの方に支えられていることを実感した。

一方で、理解されていない部分があり、努力不足を感じた。

問 今後4年間のまちづくりのビジョンは。

市長

多くの課題が山積しているが、限られた財源を有効かつ効果的に活用し解決を図りたい。

問 具体的には何か。

市長

例えば、高齢者や障がい者の方が自由に移動できる公共交通の充実や子

育て世帯の負担の軽減など、市民と対話を深め、ともに解決を目指したい。

問 激甚化する災害に対する備えは。

総務部 参与

災害時に迅速かつ適正に対応できるよう職員の研修会を実施し、体制強化に取り組む。

問 新たに※ハザードマップを作り変え、見やすく分かりやすくすべき。

総務部 参与

新たに作り直し、出来しだい各戸に配布し、出前講座も行い、しっかりと周知啓発を図っていく。



※「ハザードマップ」とは、「自然災害発生時に被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図」



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 市長は選挙の公約で地域の文化や文化財を守り磨きかけるとし、寺社・古墳・埋蔵文化財等を生かす活動を支援していくとしているが、具体的にどのような取り組みを考えているのか。また、古い町並みを残す制度についてどのように考えているのか。

市長

昨年から歴史文化資源保存活用支援事業補助金を設け、地域が歴史文化資源を保護、保存、活用する取組を支援する事業を実施している。また、行政と市民や児童生徒が市内の文化財に親しみ、理解を深める取組も進め



室崎 陸海

問 地域の文化財を守り磨く取組について

答 非常に重要な観点であると考えている



文化財等を生かす活動のために今後、広い土地を活用した駐車場整備等の検討を

日本国憲法第22条で基本的人権の一つとして全ての人の職業選択の自由を保障しており、この原則の中で職員の採用選考を行っている。居住地に問わず職員一人ひとりが瀬戸内市に愛着と誇りを持って働いてくれる事が重要であると考えているが、人材確保の方法の一つとして他市の事例も十分に研究した上で導入を検討していきたい。

副市長

問 職員採用について、地元枠やUターン枠を設ける自治体が増えていくが市長、副市長はどう思うか。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

成本 崇

問 観光の広域連携についての計画は

答 市外各地域と連携を図り誘客を進める



前島の活性化をすすめる「愛する前島プロジェクト」

問 消費額の高い宿泊客を増やすため、瀬戸内市の枠にとられない広域連携で、観光のボリュームを増やす計画はいかがか。

文化観光部長

備前エリア・県南エリアなど広域的な連携で効果的な誘客を進めたい。将来的に海路を活用した観光振興も考えていきたい。

問 地域の様々な市民活動を活性化するため、市民活動支援センターを作つてサポートするという前向きな取り組みの方向性についての考えは。

市長

市民活動支援をさらに充実していくための組織、または財源の手当てについて、課題はあるが考えていく必要がある。

問 マイナンバーカードについて、国は健康保険証としての利用と運転免許証との一体化を目指しているが、市民の交付率とそれを高める方策は。

市民生活部長

1万549名・約30%である。国の施策に合わせて普及について周知したい。本庁以外の受け取りも課題として考えている。



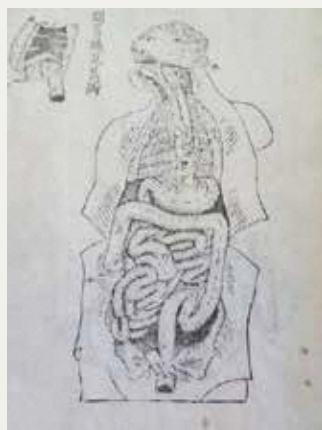
知ってますか？

文化財



「解体新書」

初版本



邑久町北島の「中島醫科資料館」には、江戸時代、医者で蘭学（オランダの学問）を研究していた前野良沢や杉田玄白らによって書かれた「解体新書」の初版本が四巻セットで保管されています。

杉田らは、初めて人体解剖を見て、持っていたオランダの医学書（ターヘル・アナトミア）の正確さに大変驚きました。そして、この医学書を苦勞しながら翻訳し、「解体新書」として出版しました。この本は、その後の医学の発展に大きく貢献しました。

小・中学校の社会科で必ず習う「解体新書」の本物が、江戸時代より邑久の病院にずっと保管されてきました。瀬戸内市に存在する貴重な文化財です。

地域のがやき

地域の写真を市民のみなさんから募集します



仏教や文化を学ぶ寺子屋を月1回開催(上寺山餘慶寺)



願い事がかないますように(美和小学校)

私たちが議会だよりを担当します



※撮影のため、マスクは外しています。

編集後記

まだまだ暑い日が続いています。コロナ禍の中、暑さ対策にも十分注意してお過ごし下さい。

6月には、市長・市議会議員の選挙がありました。

市議会にも新しいメンバーが加わり、新しい編集委員の下での最初の議会だよりです。正確、分かりやすくをモットーとして、読みやすい議会だよりづくりのために、一生懸命努力してまいりますので、よろしく願います。

(小谷 和志)

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

都合により、日程が変更となる場合もあります。

9月 1日(水)	本会議	9:30～
8日(水)	本会議	9:30～ 一般質問
9日(木)	本会議	9:30～ 一般質問
10日(金)	本会議	9:30～ 一般質問
13日(月)	本会議	9:30～
27日(月)	本会議	9:30～

本会議の映像を、生中継および録画放映でご覧になれます。



●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <https://www.city.setouchi.lg.jp> この市議会だよりは再生紙を使用しています